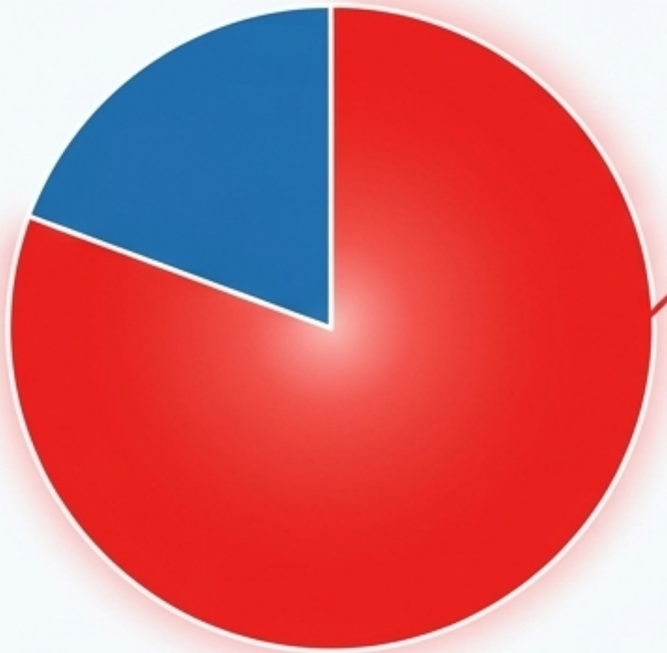
Claudeにバグ調査を丸投げ！AIデバッグ完全手順書



エンジニアの
作業時間における
「デバッグ・周辺作業」
の割合（80%）



Gemini Notebook

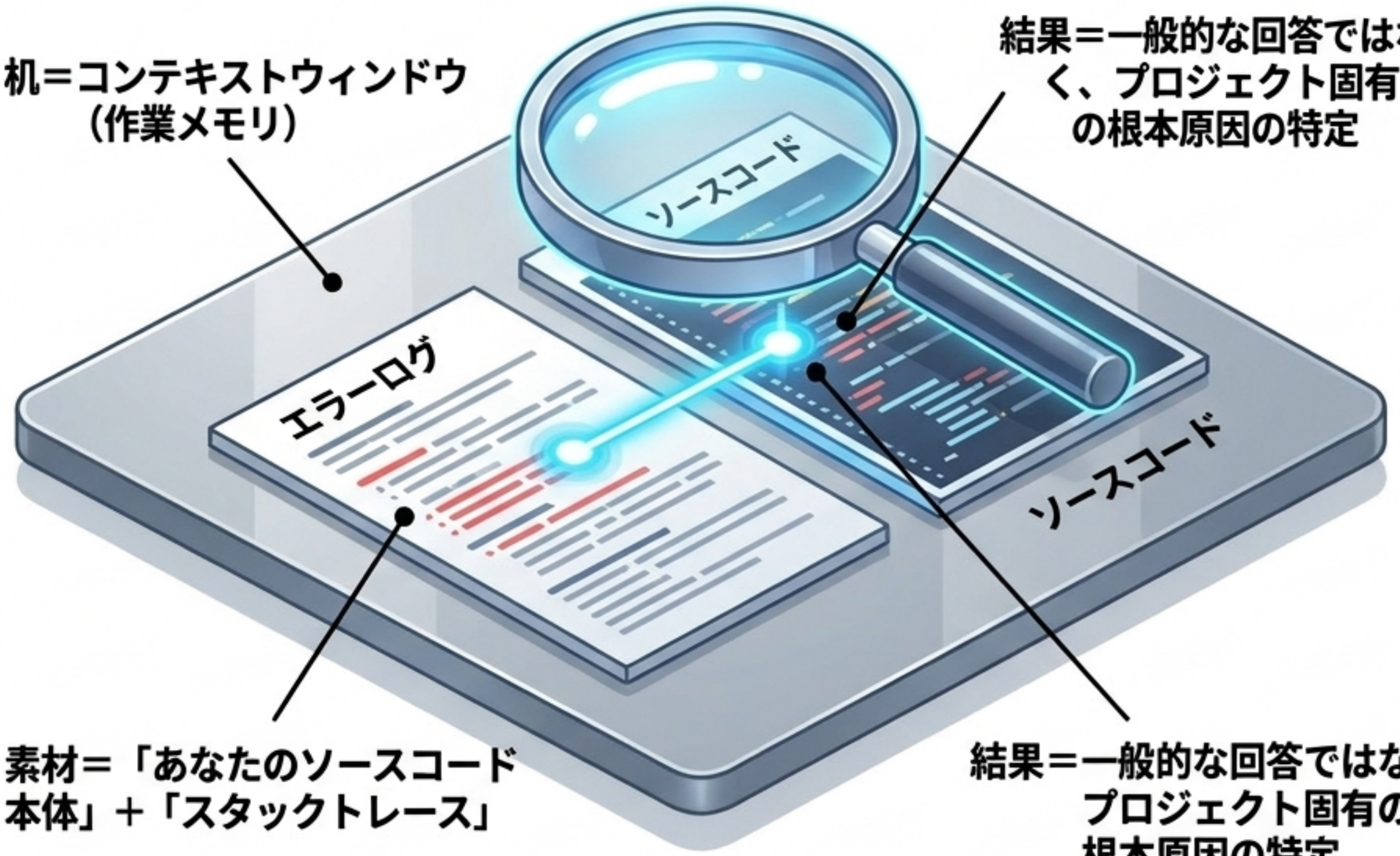
従来のバグ対応 VS 新しいデバッグスタイル

		
ログ解読	• 【従来】手動検索と目視の往往復	• 【Claude】コード文脈を汲んだ瞬時解析
修正プロセス	• 【従来】試行錯誤の手作業	• 【Claude】エージェントによる自律的な修正・検証ループ
記憶	• 【従来】個人の経験と記憶に依存	• 【Claude】プロジェクトメモリ（CLAUDE.md）での全体把握
時間の使い道	• 【従来】80%を周辺作業に消費	• 【Claude】意思決定と創造的業務に集中



Gemini Notebook

コンテキストウィンドウと作業メモリの概念



机＝コンテキストウィンドウ（作業メモリ）

結果＝一般的な回答ではなく、プロジェクト固有の根本原因の特定

素材＝「あなたのソースコード本体」＋「スタックトレース」

結果＝一般的な回答ではなく、プロジェクト固有の根本原因の特定





Gemini Notebook

効果的なエラー解析プロンプトの3要素

【1. 役割と前提】
例：「Python非同期処理に精通した
デバッグエンジニアとして…」

【2. 提供情報】
「エラーログ全文」と「該当ソースコード
（複数可）」を明確に分離して添付。

【3. 求める出力】
①根本原因
②修正箇所（前後比較）
③技術的背景（なぜそうするのか）



Gemini Notebook

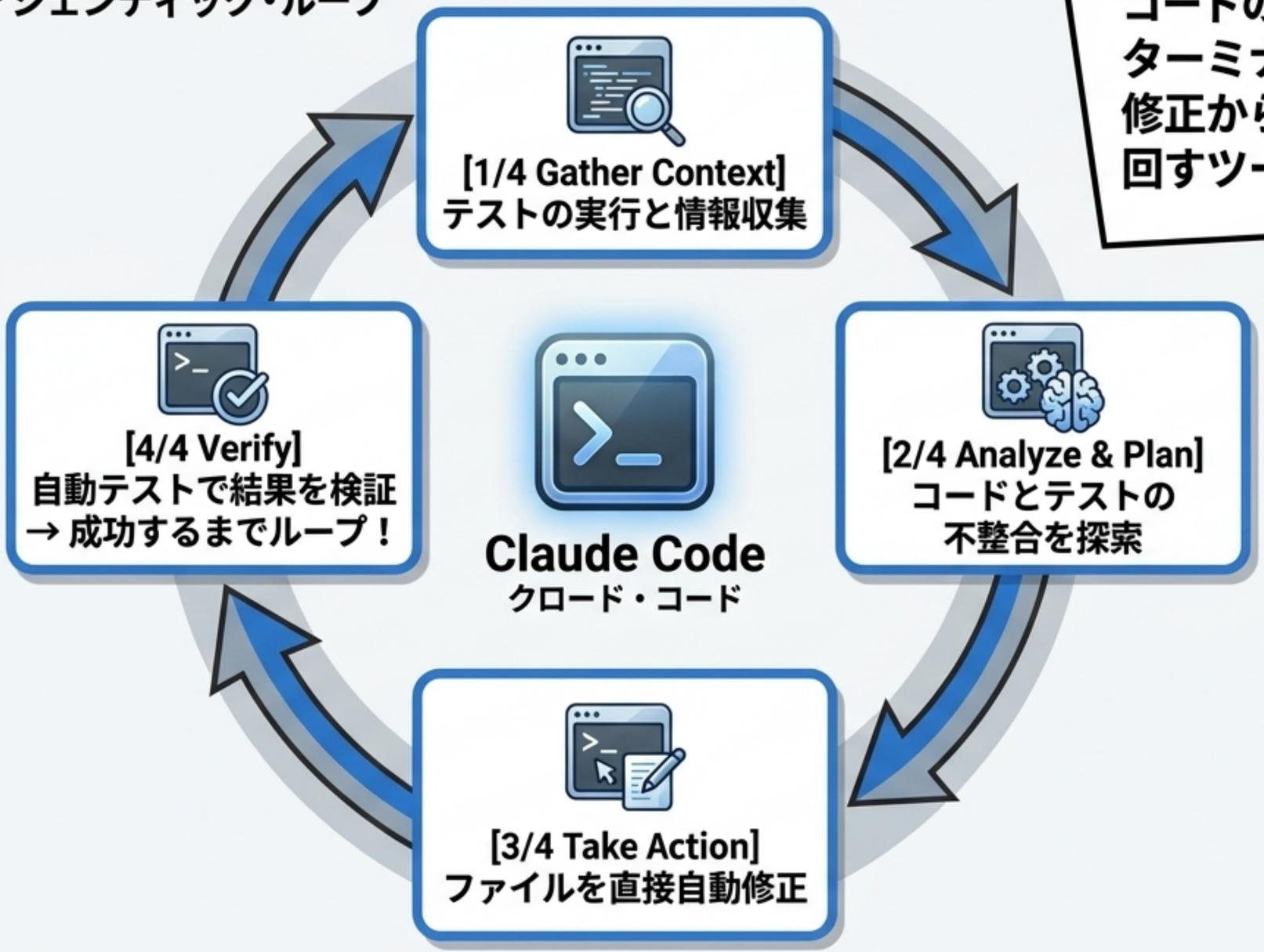
AIコーディング支援のトラブルシューティング

【症状】 一般論しか返ってこない	【原因】 コード本体の渡し忘れ	【対処】 「該当ファイルの全コードを添付します。再度分析してください」
【症状】 架空の関数を提案される	【原因】 次トークン予測によるもっともらしい捏造	【対処】 「実在する標準機能のみで修正コードを再構築してください」
【症状】 曖昧な解説が長すぎる	【原因】 安全策を取りすぎている	【対処】 「前置きは省略し、原因1文と修正コードのみ出力してください」



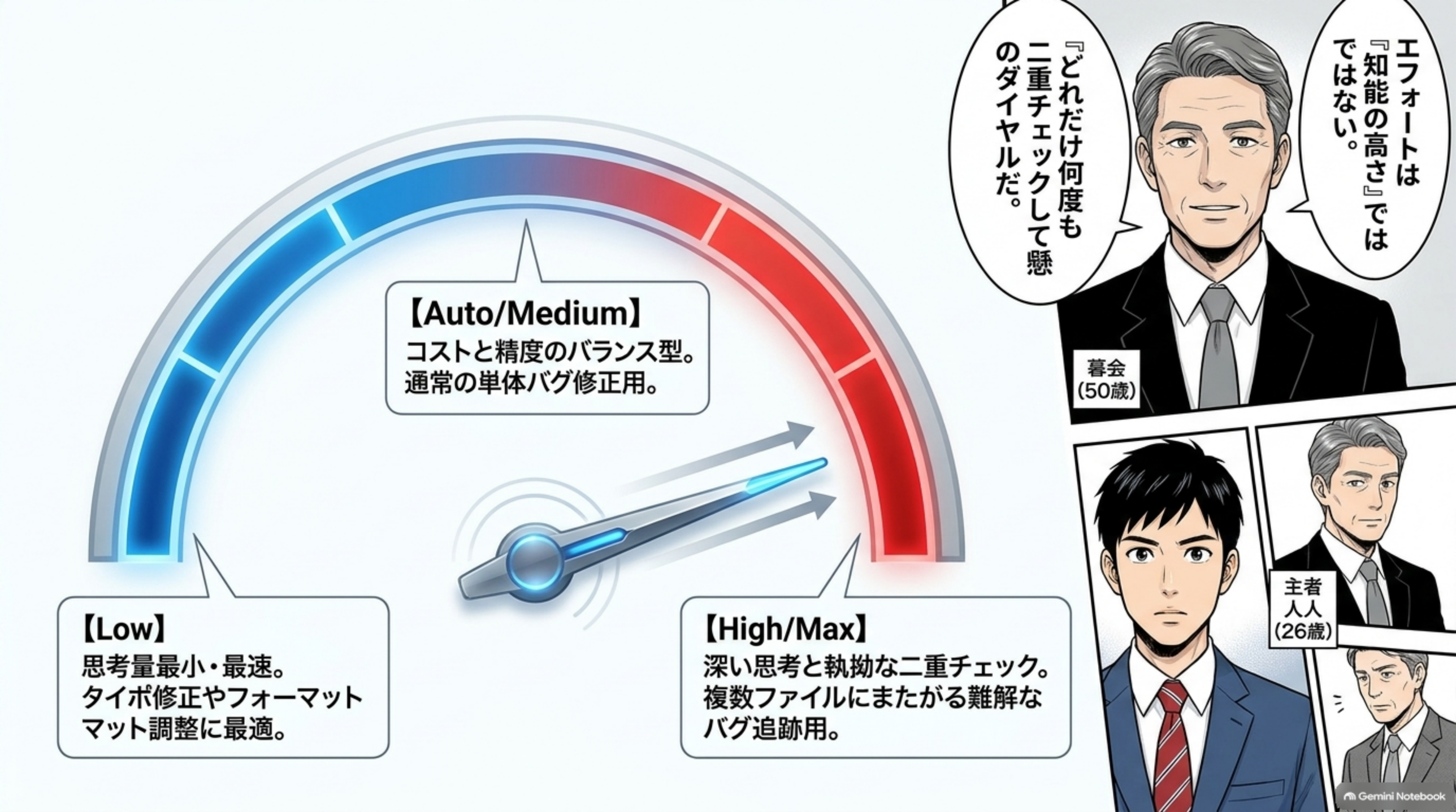
Gemini Notebook

Agentic Loop
アジェンティック・ループ





Gemini Notebook


【Auto/Medium】
コストと精度のバランス型。
通常の単体バグ修正用。
【Low】
思考量最小・最速。
タイポ修正やフォーマット
マット調整に最適。
【High/Max】
深い思考と執拗な二重チェック。
複数ファイルにまたがる難解な
バグ追跡用。
エフォートは
『知能の高さ』では
ではない。
『どれだけ何度も
二重チェックして懸
のダイヤルだ。
暮会
(50歳)
主者
人人
(26歳)
Gemini Notebook

コンテキスト溢れ (Lost in the Middle) の回避コマンド

```
>_
> /usage    : 消費トークンとコストの確認

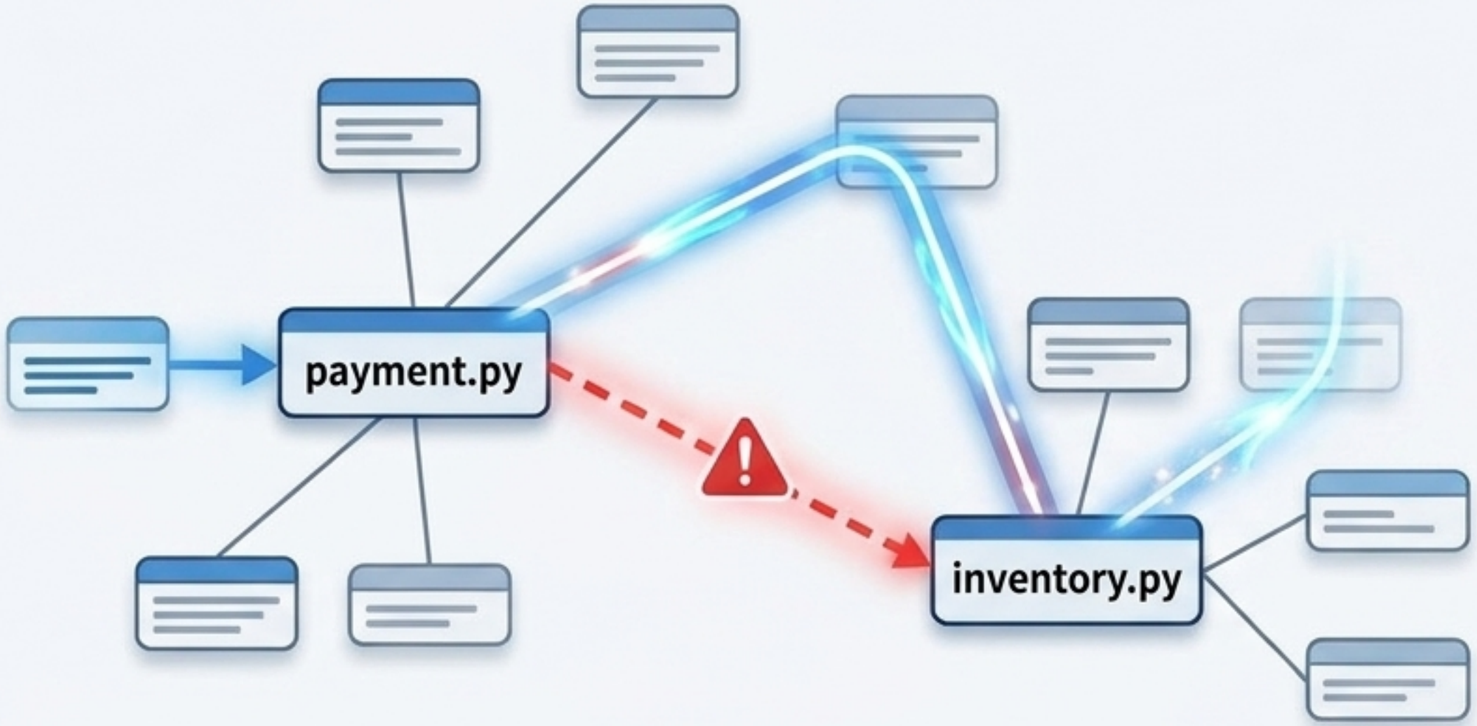
> /context  : メモリ占有率の視覚化

> /compact  : 履歴を要約・圧縮し、セッションを
              維持したままメモリを削減

> /clear    : コンテキストを完全リセットして
              再スタート
```



Gemini Notebook





【Project Glasswingの知見】
AIは3〜5つの潜在的バグを連鎖的に特定可能。

【ワークフロー】
いきなりコードを書かせない。まずは`Explore（探索）`させて
影響範囲を特定し、`Plan（計画）`としてレポートさせるのが成功の鍵。

Gemini Notebook

CLAUDE.md (プロジェクトメモリの永続化)

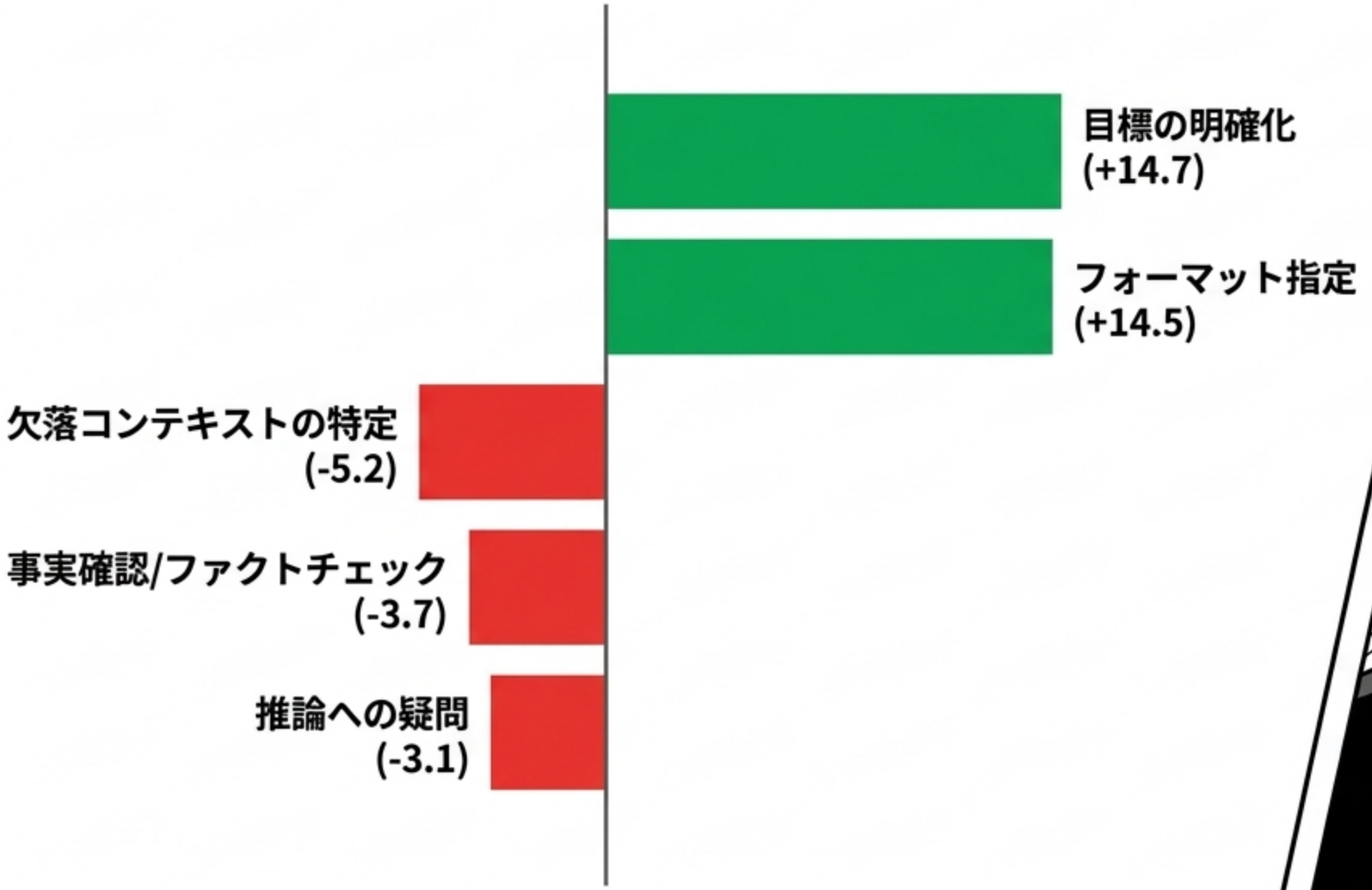
- テスト実行コマンドや型チェックのルールの保持
- アーキテクチャ設計・DBトランザクションルールの共有
- 「過去に起きたバグのパターン」を記録し、再発を未然に防ぐ

CLAUDE.md



Gemini Notebook

AI Fluency Index (2026) が示す行動変化





- [ ] 1. 提案された修正コードのロジックを手動で目視確認したか？
- [ ] 2. 実行されたテスト結果やログの生出力を直接確認したか？
- [ ] 3. AIが見落としている「隠れた背景・制約」がないか自問したか？
- [ ] 4. AI自らに「推論の危うさ・見落としリスク」を問いただしたか？
- [ ] 5. 最終的な成果物に対し、自分自身が責任を負える状態か？

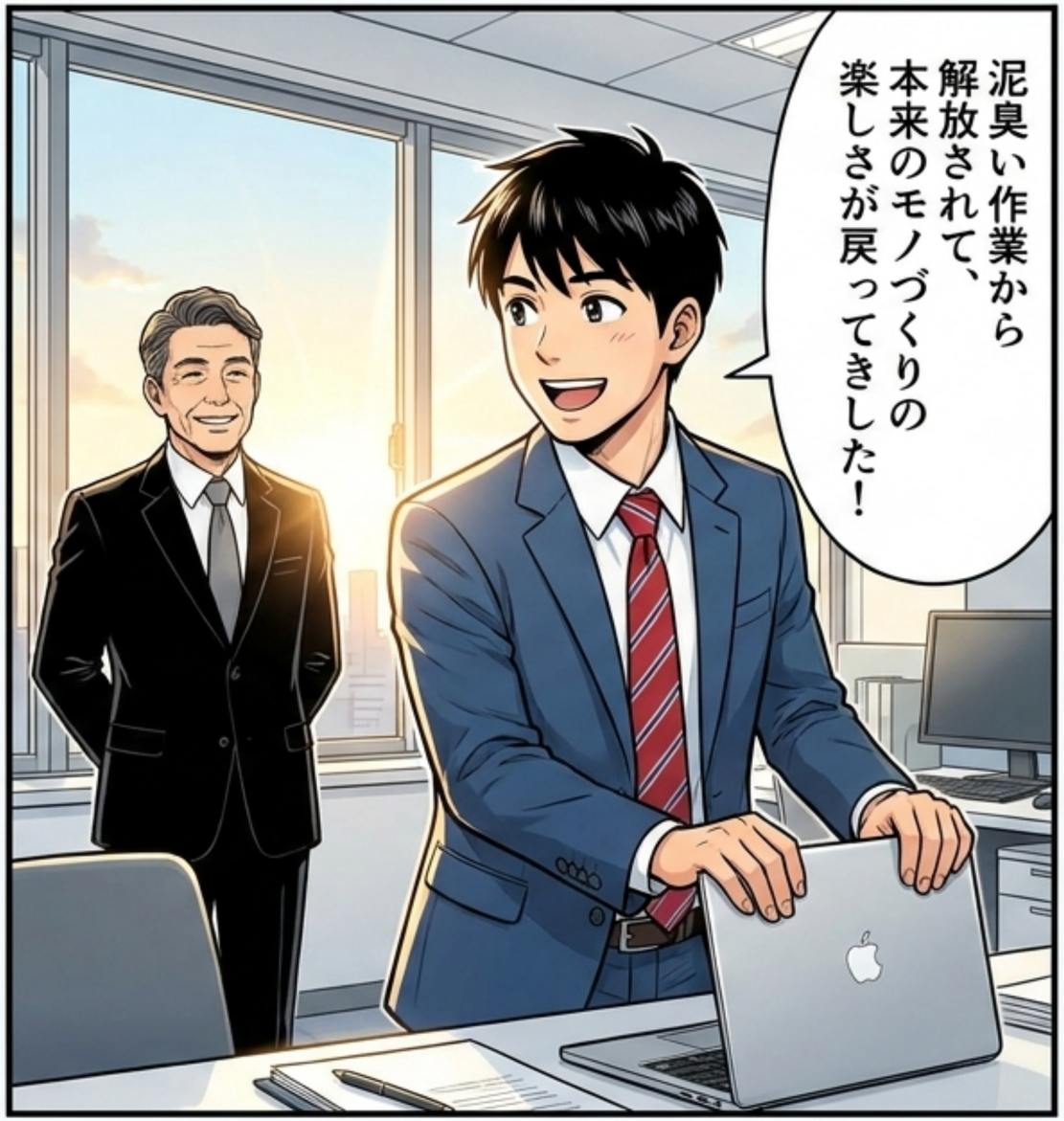


Gemini Notebook

バグ対応から
解放された先にある、
ワクワクする開発体験

手作業のデバッグから
「適切な委任（Delegation）」と
「見極め（Discernment）」へ。

エンジニアの貴重な時間と集中力を、
アーキテクチャ設計や新規アイデアの
実現という、最も創造的な業務に取り
戻そう。



Gemini Notebook

今日のファーストアクション

手元の直近のエラーログをコピーして、今すぐ送信してみましょう！

Copy

あなたはプロのデバッグ教育エンジニアです。
以下のエラーログが発生しました。1. 発生源と根本原因、2. 考えられる修正方針、の 点を初心者にもわかりやすく簡潔に解説してください：

[ここに手元のエラーログやスタックトレースを貼り付け]



Gemini Notebook